

玉重委員（自民議連）

令和7年3月10日

教育長職務代理者答弁実録

（教育委員会）

（問）教員の働き方改革の課題について

教員の時間外勤務が減らない理由について、教育長に伺う。

また、教員の働き方改革の課題は何なのか、併せて教育長に伺う。

（答）

令和5年6月に実施した教員勤務実態調査の結果によりますと、

- ・ 授業を始め、部活動や生徒指導など、生徒等と直接向き合う業務、
  - ・ 授業準備・教材研究など指導の質を高めるための業務、
  - ・ 事務や成績処理などの校務に、教員が多くの時間を費やしている
- といった実態がございます。

こうした実態の要因といたしましては、

- ・ 学習評価や成績処理など、教員が本来行う業務について、デジタルを活用した負担軽減や効率化が十分に進んでいないことや、
- ・ 調査回答の事務など、教員の専門性を要しない業務を教員が直接対応していること

などが考えられます。

このため、教員の時間外在校等時間の縮減も含めた学校の働き方改革の推進に向けまして、

- ・ 教員が効率的に業務を行うためのICT環境の整備や、
- ・ 教員の専門性を要しない業務については、教員以外の職員に業務の割振りができるような環境の整備を、

更に進めていく必要があるものと認識をしております。